

ている

「安心」って何? ~

「日本の治安は悪くなっていると思いますか?」こう問われたら、多くの方が「はい」と答えるでしょう。

森田知事も選挙マニフェストの最初に治安対策を掲げ「移動交番とともにみんなで見張る」としています。

統計上犯罪は減っているのに、増幅する不安にかられ知らない人=不審者と思うような社会をあなたは望みますか?

「見張る」と「見張る」は大違い

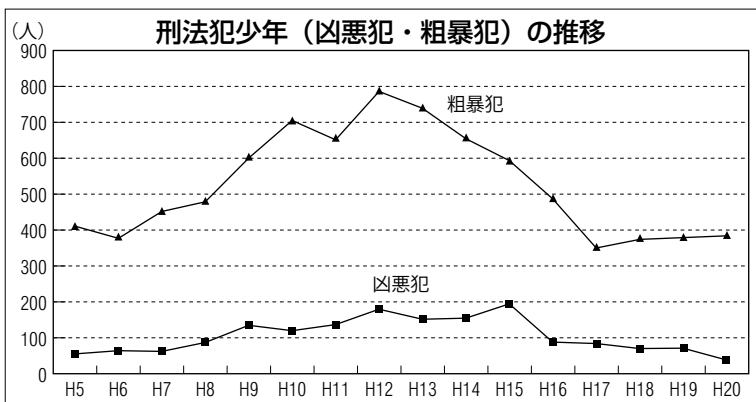
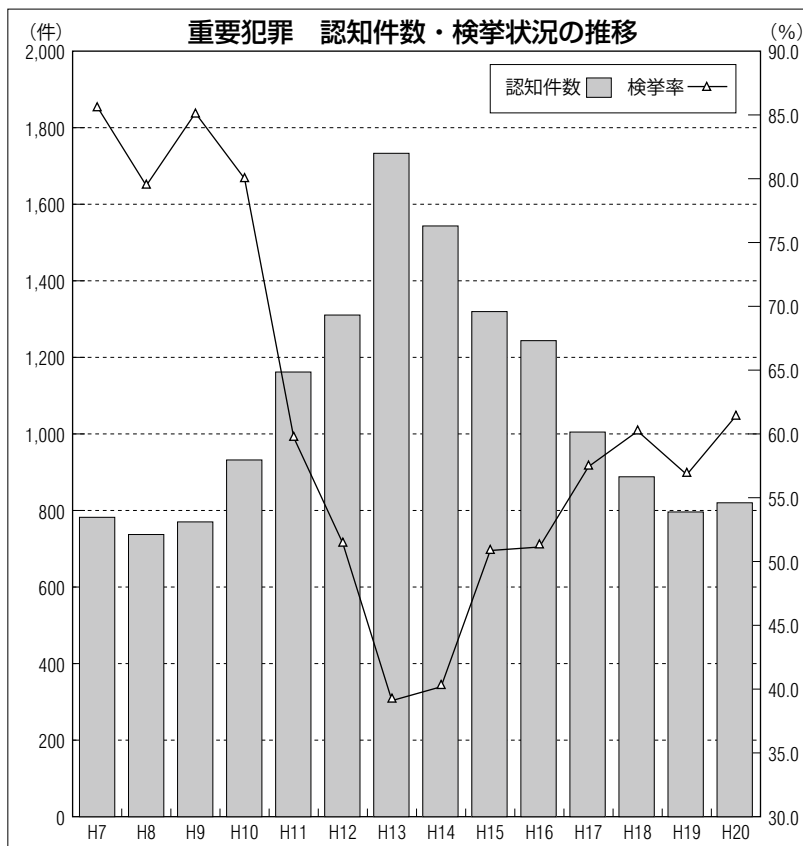
千葉県で生活安全条例が策定されたのが2004年。警察からの出向職員が中心となり、他自治体でも次々と生活安全条例ができました。

現在の治安政策の大きな特徴は、地域住民によるボランティア活動としての自発的治安維持活動が盛んなことです。各地に作られたボランティアの「〇〇パトロール」「スクールサポーター」はこの10年間でその数は十数倍に増え、千葉県では「市民交番」すら設置されています。森田マニフェストの「みんなで見張る」は、この流れを継承し、さらに推し進めるものです。しかし自発的な「見守る」行動と上意下達の「見張る」活動は、大きく異なります。

犯罪は増えているぞー

千葉県の重要犯罪の認知件数は、2002年1545件から減り始め、2008年度821件まで減少傾向が続いています。認知件数とは警察が被害届を受理した数です。被害者や目撃者が事件を警察に届けなければ犯罪として認知されませんし、届けた事件も警察が犯罪と考えなければ認知されたことになりません。

平成11年の桶川ストーカー事件では、被害者と家族がストーカー被害を警察に何度も訴えていたのに、警察が犯罪と認知せず放置した結果、殺人事件が起きました。この事件を契機に犯罪認知件数は大幅に増加したが、グラフでわかるように、その



後重要犯罪の認知件数は減少し続けています。「治安」に関する多くの著作や論文でも「治安の悪化」は、ほぼ100%否定されていますし、毎年

「体感治安」という言葉

私たちが肌で感じる治安の良し悪しを「体感治安」といいます。統計数値が示す実際の治安状況と、私たちが抱く治安の印象とは必ずしも一致しないことから、「体感治安」はこの数年悪化し続けています。

犯罪社会学者の浜井浩一氏(龍谷大学)が06年に実施した全国アンケート調査では、「ここ数年治安が悪化したと思う」人が実に90・6%もいました。同じ06年に内閣府が行った全国調査でも「治安が悪化していると思う」人が84・3%という

の「警察白書」でも「治安の悪化」という表現は出てきません。少年犯罪も含め、統計などの数値を見る限り、犯罪が増えているという状況ではないのです。

「安全・安心」の反対は「危険・不安」

「安全」の対極である「危険」をまちづくりにおいて取り除くのは当然です。昼でも暗い公園や見通しの悪い交差点の改良が徐々に進んでいます。バリアフリーの視点も含め、暮らす人の立場で行なわれるまちづくりは、市民ネットも常に主張していることです。具体的な「危険」にひとつひとつ対処することで「安全」な暮らしが実現していくと考え

ます。では「安心」の対極である「不安」を取り除くためには、どうすればよいのでしょうか。「安心」も「不安」も心の中の問題です。「安全」は客



「不安」な気持ちはなぜ起るのか?

「治安が悪化している」と答える人は多くても、「自分の周辺で治安が悪化している」と答える人は少数です。「身の回りでは感じないが、社会全体の治安が悪化」と感じるのは、「なんとなく感じる不安」が増大していることを意味しています。不安が不安を呼び、社会全体が不安病にかかっているような状態です。

自分の理解を超えた人や事柄に対して感じる違和感も不安に近い感情です。日本語の通じない人、想定外の行動をする若者、価値観の全く違う人々。外国人や若者の犯罪が増えていると感じる気持ちの底に流れているのは、このような理解できないものに対する不安と言えます。不安を解消するために「見張る」とは、異質なものを探し出すこととする「監視」になりかねません。

「安全・安心のカゲに隠れて監視社会への道」～本当の

貧困の定着・格差拡大こそ不安の根源

貧困や格差の拡大が犯罪の引き金になりつつあることを私たちは痛感しています。

森田マニフェストでは「今後、経済状況が厳しくなる中で、このままでは治安を巡る状況は今以上に悪化していくことは間違いありません」と言っています。

経済状況が悪化し、生活の質が下がり、貧困が定着し、格差が拡大するような社会で、不安なく暮らせるでしょうか？ 正社員にならなくてもなれない若者、授業料が払えなくて通学をあきらめるしかない高校生、大学生、子どもの食事を作る時間も体力もないほど働きつめの両親。個人の努力で解決できないこのような状況を改善しなければ、私たちの不安は解消しません。

「みんなで見張る」は住みやすい地域か？

全国の生活安全条例の大半は「安全・安心」を冠した「まちづくり条例」となっています。「セキュリティの強化」を軸に「まちづくり」をめざす方向は、森田マニフェストでさらに強化されています。

しかし、もともとあるわけでもない「治安の悪化」を理由に、多くの市民が「見張る」活動に参加することに意味があるとは思えません。

「見張る」は不信に基づいた行動です。「みんなで見張る」は「監視」につながります。警察との連携による「見張る」は、権力を持つ市民防犯活動になる可能性があります。

「見張る」で作る「信頼」に基いたコミュニティ

不安定な経済状況の下、「安全・安心」をひとくくりにし、防犯と防災をセットにすることで、私たちの「体感治安」は煽られていないか、冷静に考えるべきです。

「全ての人を犯罪者予備軍」と疑うような社会が健全といえるでしょうか？ 自分の理解を超えた人を「不審者」とするならば、だれでも「不審者」になりかねません。

正しい理解のための「コミュニケーション」、信頼に基づいた人と人のつながり、これらに裏付けられた暖かい地域づくりこそ、市民ネットワークがめざす安心・安全な社会です。



市民の時間 civil time

— Vol.19 —

「森田健作氏を告発する会」代表の井村弘子さんに聞く

3月の知事選で当選した森田健作千葉県知事は、公職選挙法と政治資金規正法に違反しているとして、市民団体「森田健作氏を告発する会」から告発されました。この会の代表を務めるのが井村弘子さんです。井村さんは88歳を過ぎ益々元気一杯。環境問題など市民活動に積極的に取り組んでいます。

聞き手：大野ひろみ



井村弘子さん

大野「告発する会」の代表を引き受けた理由を改めて聞かせてください」

井村「森田さんのやったことは許せないと思ったからです。私たち大人が悪いことは悪いとちゃんと指摘しなければ、孫やひ孫たちに、『ウソをついてはいけな』などと言えませんよ」

大野「どこが一番許せないと思いましたか？」

井村「まず、当選するためにはどんなウソをついてもいい、法律に抵触してもかまわない、という姿勢です。そして、ドンキホーテなど不正な企業献金を受け取っていても、ばれたら後で返せばいいなんて、不道德さわからないですよ。福岡の高校で講演をして、講演料は森田個人として受け取らなければならぬのに、自分の政治団体に入れてしまった。これって脱税行為でしょ？ そのときの講演のタイトルが『努力は決して嘘をつかない』こんなふざけたことがありますか！」

大野「最近では、剣道2段と称していたのもウソだったと報道されています」

井村「ウソだったのも驚きですが、そのあと、何が悪いと聞き直ったことのほうが重大です。マニフェストでは道徳教育の必要性を熱心に説いていますが、平気でウソをつく人に道徳などと言ってほしくありませんね」

大野「知事を告発する会の代表となると、色々風当たりも厳しいのでは？」

井村「森田氏を擁護する側からは、『極左』などと事実無根のレッテルを貼られたりしています。成田空港で国に農地を取り上げられそうになっている農家を支援しているのですが、私は成田闘争などは一切無縁で、『土と農業』を必死に守っているその方の思いに

共感しているのです。第一、私が市民運動に片足をつっこんだのは70歳を過ぎてからです。よ。(笑)」

大野「その市民運動ですが、井村さんは残土・産廃の分野で大奮闘してきましたね」

井村「千葉県は美しい房総の山を削って山砂を東京や神奈川へ持っていくかれ、代わりに汚い残土や産廃を首都圏から運び込まれています。すっかり首都圏のゴミ捨て場になっているのが現状。森田知事は東京や神奈川の知事にしつかり主張するといつより、うまく利用されている感じがします。リアモーターカー構想は成田・羽田を15分で結ぶそうですが、成田は通過点になり下がり、潤うのは羽田だけ。またアクアライン800円化は、利益は千葉県側より神奈川・東京側のほうが大きいというのに、今までの料金との差額は全額千葉県が負担するのですよ。おまけに残土・産廃を運ぶ大型ダンプが安くなったアクアラインを利用して、どんどん入ってくるでしょ？」

大野「アクアライン800円化が千葉県の民の生活にどれだけメリットがあるのか。ほとんどの人はアクアラインより、今日明日の暮らしますよ。医療や福祉や雇用にもっと税金を使ってほしいと願っているはず。そんな県民の思いを受け止めなければならぬのに、森田知事は県民とほとんど会おうとしません。業者には随分会っているようですが…堂本知事が進めた『開かれた県政』は、すっかり『閉ざされた県政』に逆戻り。ここを何とかもう一度開かせるために、



井村さん、今後とも一緒にがんばりましょう」

●千葉市長選挙結果●

6月14日投開票の千葉市長選挙で、市民ネットワークちば・市民ネットワーク千葉県が推薦をした、**熊谷としひと**さんが当選をはたしました。全国一若い31歳の市長の誕生です！



投票率 43.50% (前回37.20%)

くまがい俊人 170,629票 **当選**

林こうじろう 117,560票

ゆうき房江 30,933票

びっくり 県政だより

—— 千葉県議会議員 (千葉市緑区選出) 川本幸立 ——



通行料値下げに伴う東日本高速道路会社の減収分などを40〜50億円と想定し、国と千葉県で折半するとしています。6月県議会の補正予算

なぜ千葉県が10億円を負担!? アクアライン800円社会実験

東京湾アクアライン通行料を、今年の8月1日から2011年3月末までの約2年の社会実験 (ETC車限定) として、普通車800円 (通常ETC車2,320円)、大型車1,320円 (同3,830円) に値下げすることで、森田知事と金子国土交通大臣が合意しました。

案には今年度の県負担分として10億円が計上されました。

もともと、800円社会実験の要請は、地元の推進協議会が03年より署名活動を行い、県議会でも05年に請願、07年には意見書が採択されました。今回の値下げの効果として、知事は直接的経済効果として民間の調査機関が示した年間404億円 (燃料節約約80億+時間短縮効果324億) を挙げ、金子国交相は「物流による東京湾岸の道路渋滞解消に大きく役立つ」と評価しています。湾岸地域の渋滞解消に役立てば、環境改善とともに事業費一兆円ともいわれる第2湾岸道路計画の抜本的見直しにもつながることから社会実験そのものの意義は否定できません。



しかし、県民の緊急かつ切実な要望である医療・福祉・教育分野の施策よりも優先して実施する明確な根拠が求められます。そのためには少なくとも県として今年度の4回の社会実験結果を踏まえた厳密な経済効果、環境改善効果の試算を示す必要があります。そのようなものはありません。さらに、受益者負担の立場から、神奈川県、東京都にも応分の負担を求めるのは当然ですが、それもしてはけません。なぜ、千葉県がこの時期に10億円を負担して社会実験を実施しなければならぬのか、知事は県民に説明責任を果たさねばなりません。

りも優先して実施する明確な根拠が求められます。そのためには少なくとも県として今年度の4回の

学習会報告「医療崩壊 私たちに何ができる？」

5月27日、「NPO法人地域医療を育てる会」の藤本晴枝さんのお話を伺いました。地域の医療機関の現状を市民の立場で報せる情報誌「CLOVER」は、元気ファンドの助成でスタートした事業ですが、第1号から2万枚を配布しています。



「医師は不足しているけれど現場はがんばっている」ではなく「現場はがんばっているけど医師は不足している」と伝えることで、市民に正しい危機感を持ってもらえます。これが自分の都合を優先するコンビニ診療を減らすことにもつながります。

医療の基礎である医師と患者のコミュニケーションを深めるために、若い医師のレジデント研修にも関わっているとのことでした。

署名や陳情だけでなく、市民と医療・行政の双方の課題について情報を共有し解決に向かうための「橋」となる活動は、大変前向きなものを実感しました。

署名や陳情だけでなく、市民と医療・行政の双方の課題について情報を共有し解決に向かうための「橋」となる活動は、大変前向きなものを実感しました。



「くませんせいのSOS」

子育て中の人たちに読んでほしい、地域医療再生がテーマの絵本です。一人一人が病院のかかり方を考えることが、地域医療を守ることにつながります。



「シンボルマーク」

四つ葉はそれぞれ、医療、住民、行政、福祉の4分野を表します。

●市民れんらく帳●

●韓国視察報告会「韓国市民交流と平和の旅」

日時 7月10日(金) 13:30～
会場 市民ネットワーク千葉県 4階会議室
主催 市民ネットワーク千葉県

●八ッ場ダム住民訴訟 千葉判決の勝利をめざして

日時 7月25日(土) 15:45～
会場 きぼーる 13階会議室
主催 八ッ場ダムをストップさせる千葉の会
資料代 500円

●原爆の絵展

日時 8月1日(土)、2日(日)
会場 船橋市勤労市民センター
主催 市民ネットワーク・ふなばし

●鬼泪山現地視察会

日時 8月2日(日)
集合 10:00 佐貫駅 (JR内房線)
主催 鬼泪山 (国有林) 山砂採取に反対する連絡会
連絡先 金井 (080-5680-8199)

お問い合わせ 市民ネットワーク千葉県 TEL 043-201-1051

2009年度ちば元気ファンド応募受付中

締切09年9月末日 (消印有効) **総額200万円**

市民ネットワーク千葉県では、これまで実践してきた「参加型政治」をさらに広げるため、意欲のある女性や市民によるローカルパーティの立ち上げを支援します。また、地域に新たな働き方を創出する市民事業の立ち上げや、市民活動を支援します。

応募は所定の応募用紙に資料を添付して郵送で提出してください。書類審査、訪問審査を経て11月の公開選考会にて助成団体を決定。詳しくは県ネットサイトをご覧ください。応募用紙もダウンロードできます。

市民ネットワーク・のだ	T 04-7123-6981 F 04-7123-6982	市民ネットワークちば	T 043-201-2551 F 043-223-7701
さくら・市民ネットワーク	T 043-462-0618 F 043-489-0797	市民ネットワーク中央	T 043-223-7880 F "
市民ネットワーク・かしわ	T 04-7166-6648 F 04-7166-6716	市民ネットワークみはま	T 043-278-5005 F "
いちほら市民ネットワーク	T 0436-21-1907 F 0436-21-9073	市民ネットワーク花見川	T 043-275-9585 F "
木更津市民ネットワーク	T 0438-36-0677 F "	市民ネットワークいなげ	T 043-284-3639 F "
市民ネットワーク・ふなばし	T 047-426-8321 F 047-426-8322	市民ネットワークわかば	T 043-284-2339 F 043-284-2362
袖ヶ浦市民ネットワーク	T 0438-60-2555 F "	市民ネットワークみどり	T 043-293-8011 F "
よつかいどう市民ネットワーク	T 043-304-3823 F "	市民ネットワーク・市川	T 047-369-7410 F "